2019年12月期　第1四半期

決算説明資料

株式会社オロ　証券コード：3983

2019年5月13日

目次

01 2019年12月期 第1四半期 決算概要

02 事業の状況

03 参考資料

© oRo co.,ltd.

01

2019年12月期 第1四半期

決 算 概 要

事業セグメントの変更

当社は、テクノロジーとクリエイティブを軸にさまざまなデジタルソリューションを提供しておりますが、技術の進化や顧客ニーズの変化を適切に捉えサービス展開を行うにあたり、事業内容をより適切に表現するため、当該セグメントの名称を変更いたしました。

旧セグメント名称	新セグメント名称
ビジネスソリューション事業 **（略称：BS事業）**	**クラウドソリューション事業** **（略称：CS事業）**
コミュニケーションデザイン事業 **（略称：CD事業）**	**デジタルトランスフォーメーション事業** **（略称：DX事業）**

業績ハイライト

2019年12月期 第1四半期 決算概要		
売上高	1,148百万円	前年同期比 4.9%増
営業利益	269百万円	前年同期比 27.5%減

売上高については、前年同期に比べ、両事業とも伸長し、堅調に推移しました。
一方、営業利益については、デジタルトランスフォーメーション事業が伸び悩み、減益となりました。

クラウドソリューション(CS)事業

売上高	607百万円	前年同期比 8.4%増
営業利益	242百万円	前年同期比 2.7%減

新規顧客の獲得・既存顧客との取引拡大により、売上高は堅調に推移しました。

デジタルトランスフォーメーション(DX)事業

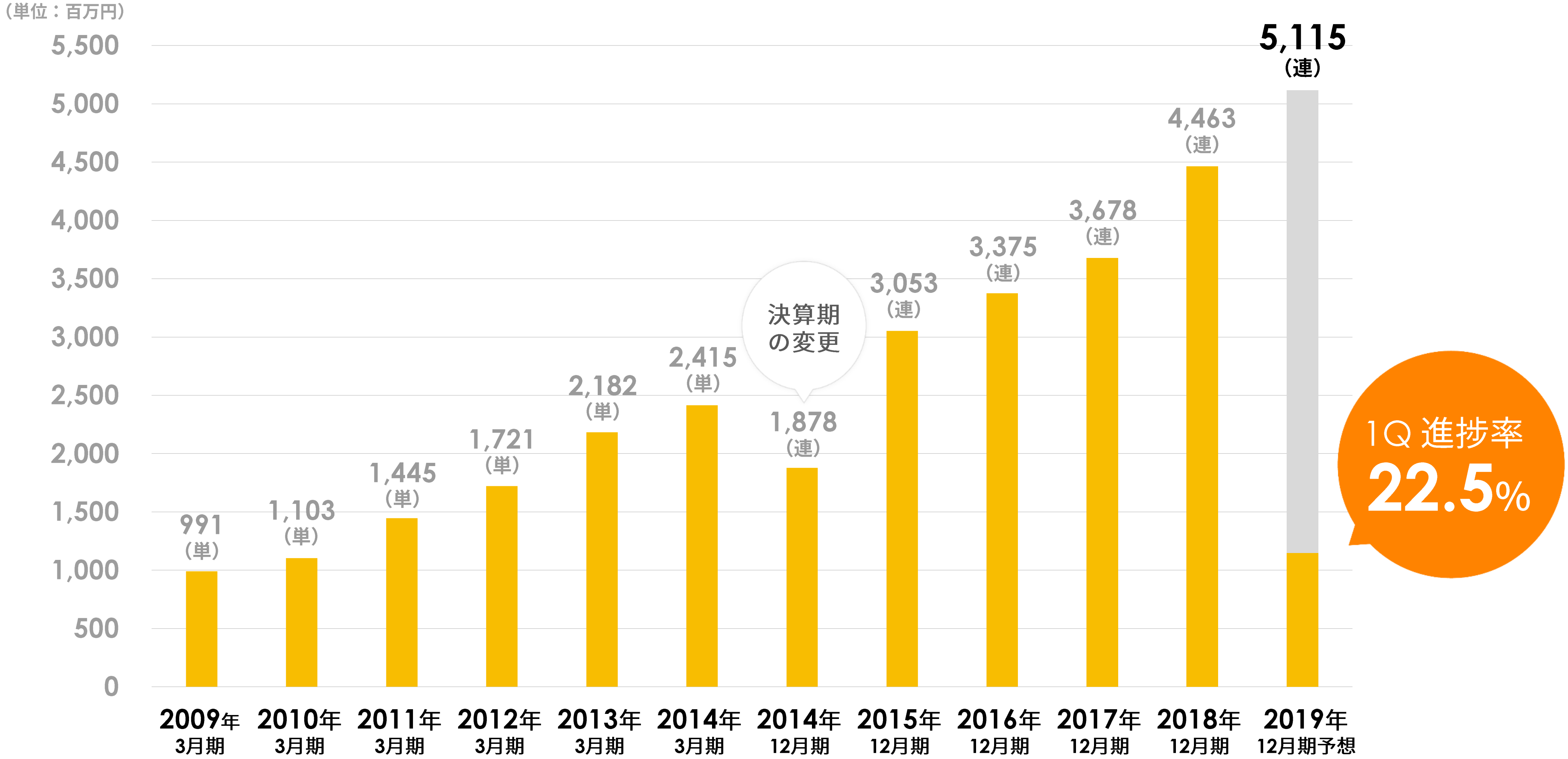
売上高	541百万円	前年同期比 1.2%増
営業利益	27百万円	前年同期比 77.8%減

既存顧客との取引が伸長したことから、売上高は順調に推移しました。一方、営業利益については人員増加等による人件費の増加、及び高収益案件が減少したことから、減益となりました。

© oRo co.,ltd.

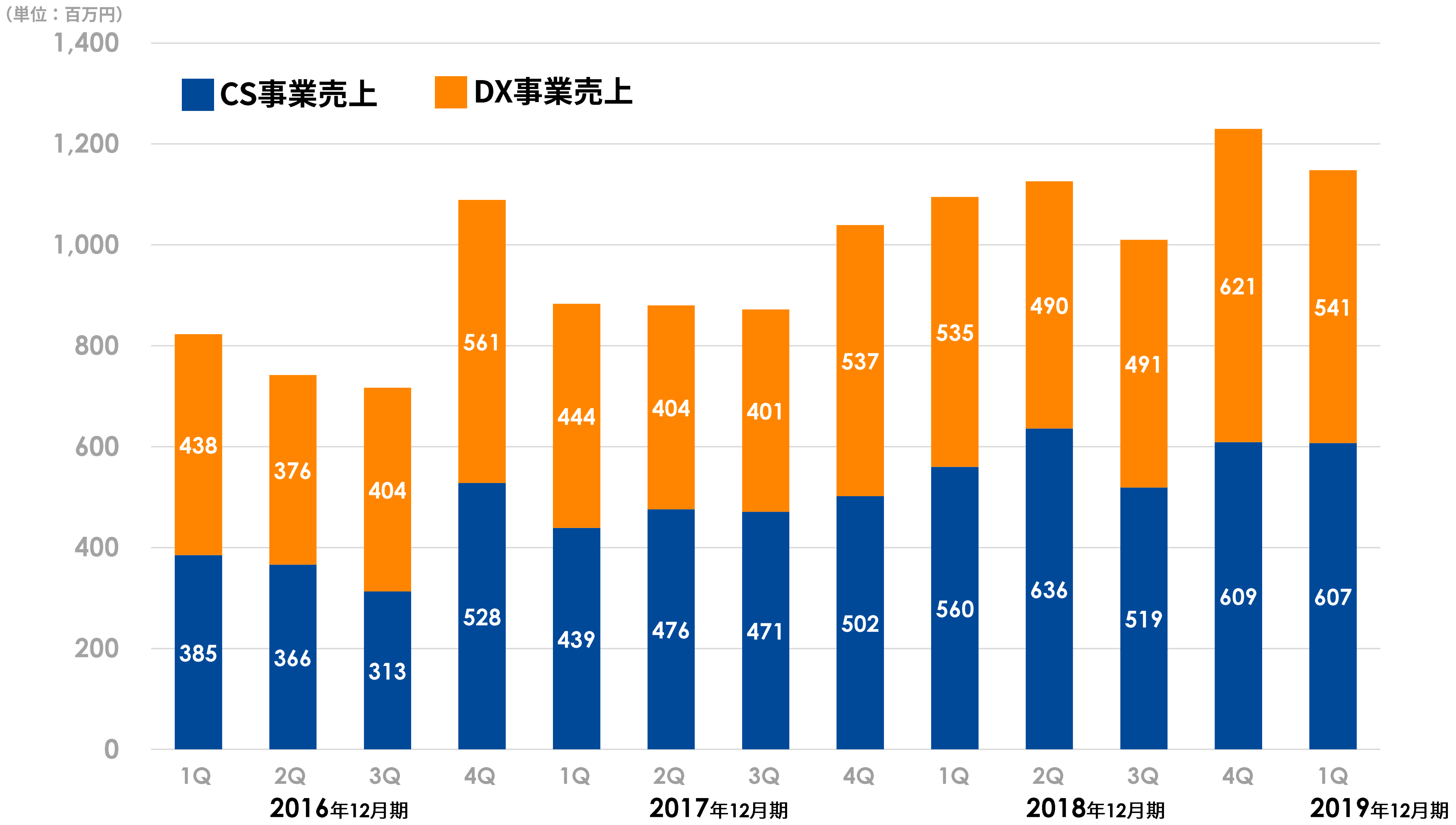
売上高推移

前年同期比 4.9%増の11.48億円、業績予想に対して堅調に推移



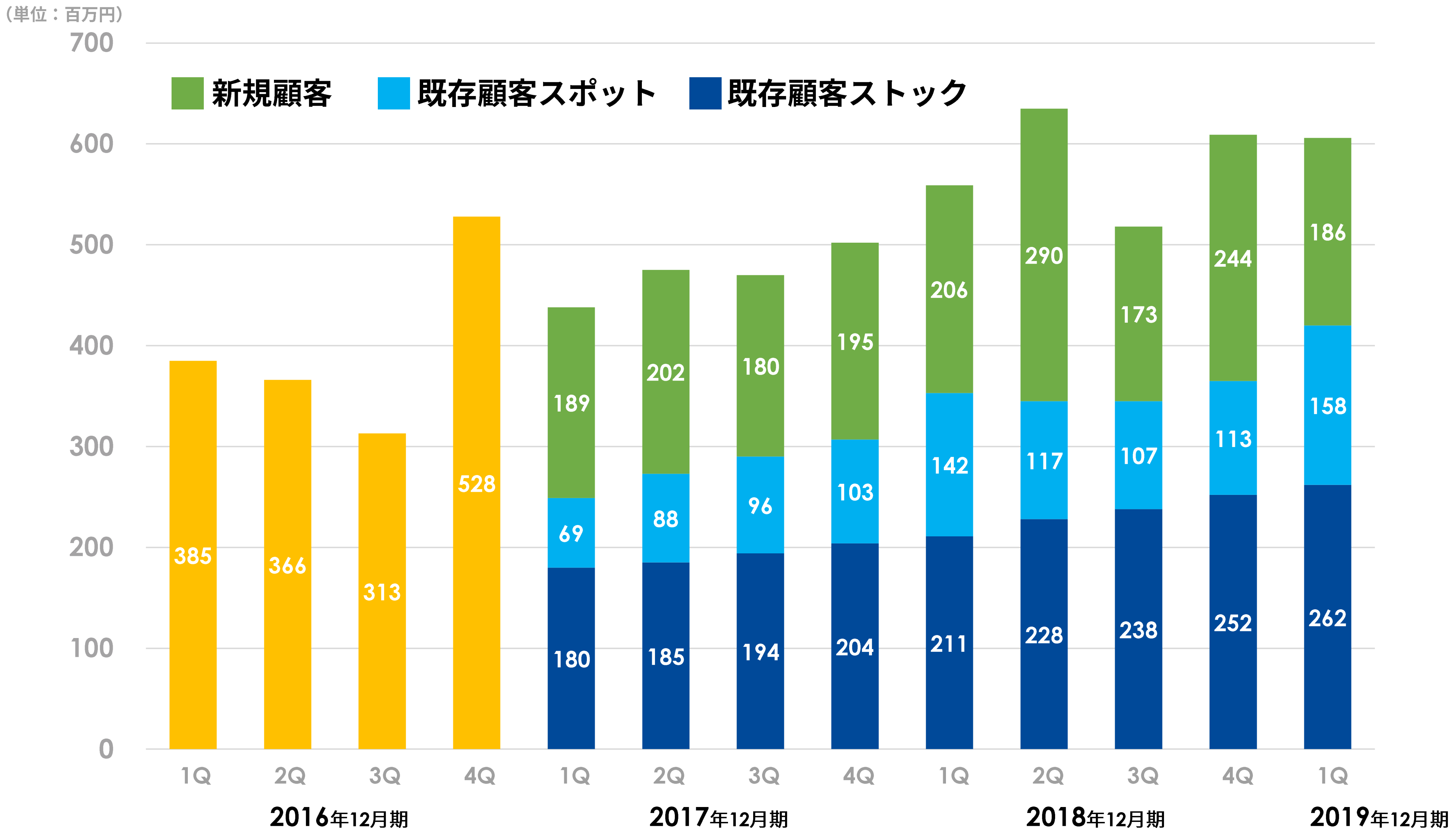
※2014年3月期以前は有限責任あずさ監査法人の監査を受けておりません。
※2018年12月期より、デジタルトランスフォーメーション事業（旧コミュニケーションデザイン事業）の売上高の計上方法を総額表示から純額表示に変更しております。この変更に伴い、2017年12月期の売上高については遡及適用後の金額（純額表示）を記載しております。

四半期売上高推移



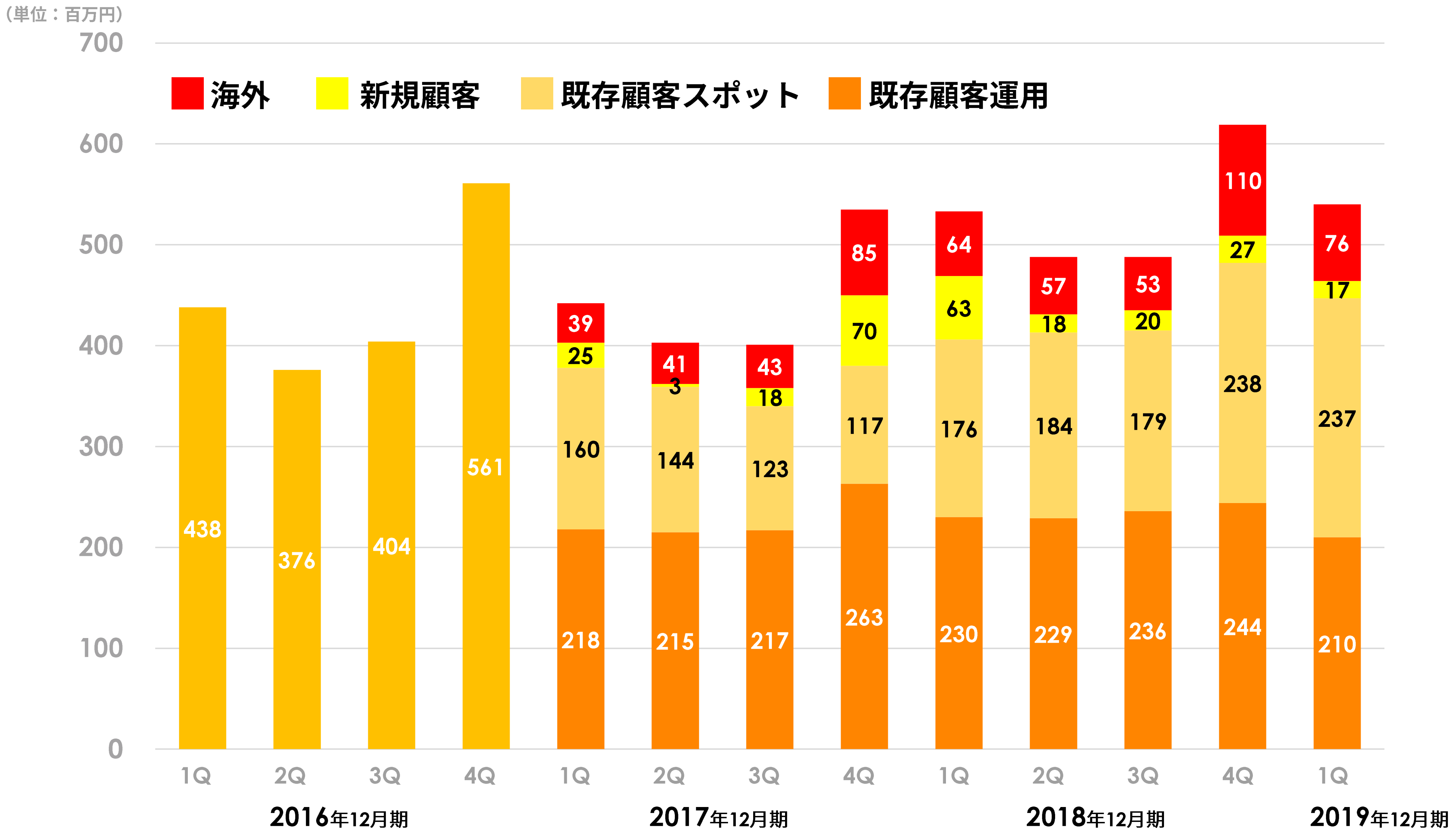
※CS事業：クラウドソリューション事業（旧ビジネスソリューション事業）
※DX事業：デジタルトランスフォーメーション事業（旧コミュニケーションデザイン事業）
※2018年12月期より、デジタルトランスフォーメーション事業（旧コミュニケーションデザイン事業）の売上高の計上方法を総額表示から純額表示に変更しております。この変更に伴い、2017年12月期の売上高については遡及適用後の金額（純額表示）を記載しております。

セグメント別売上構成　クラウドソリューション事業



© oRo co.,ltd.

セグメント別売上構成　デジタルトランスフォーメーション事業



© oRo co.,ltd.

※2018年12月期より、デジタルトランスフォーメーション事業（旧コミュニケーションデザイン事業）の売上高の計上方法を総額表示から純額表示に変更しております。この変更に伴い、2017年12月期の売上高については遡及適用後の金額（純額表示）を記載しております。

通期業績予想に対する進捗

売上高、営業利益ともに通期予想に対し堅調に推移

（単位：百万円）

	2019年12月期 通期予想	2019年12月期 1Q実績	進捗率
売上高	5,115	1,148	22.5％
クラウドソリューション事業	2,801	607	21.7％
デジタルトランスフォーメーション事業	2,313	541	23.4％
営業利益	1,308	269	20.6％
経常利益	1,325	267	20.2％
親会社株主に帰属する 四半期純利益	907	181	20.0％

© oRo co.,ltd.

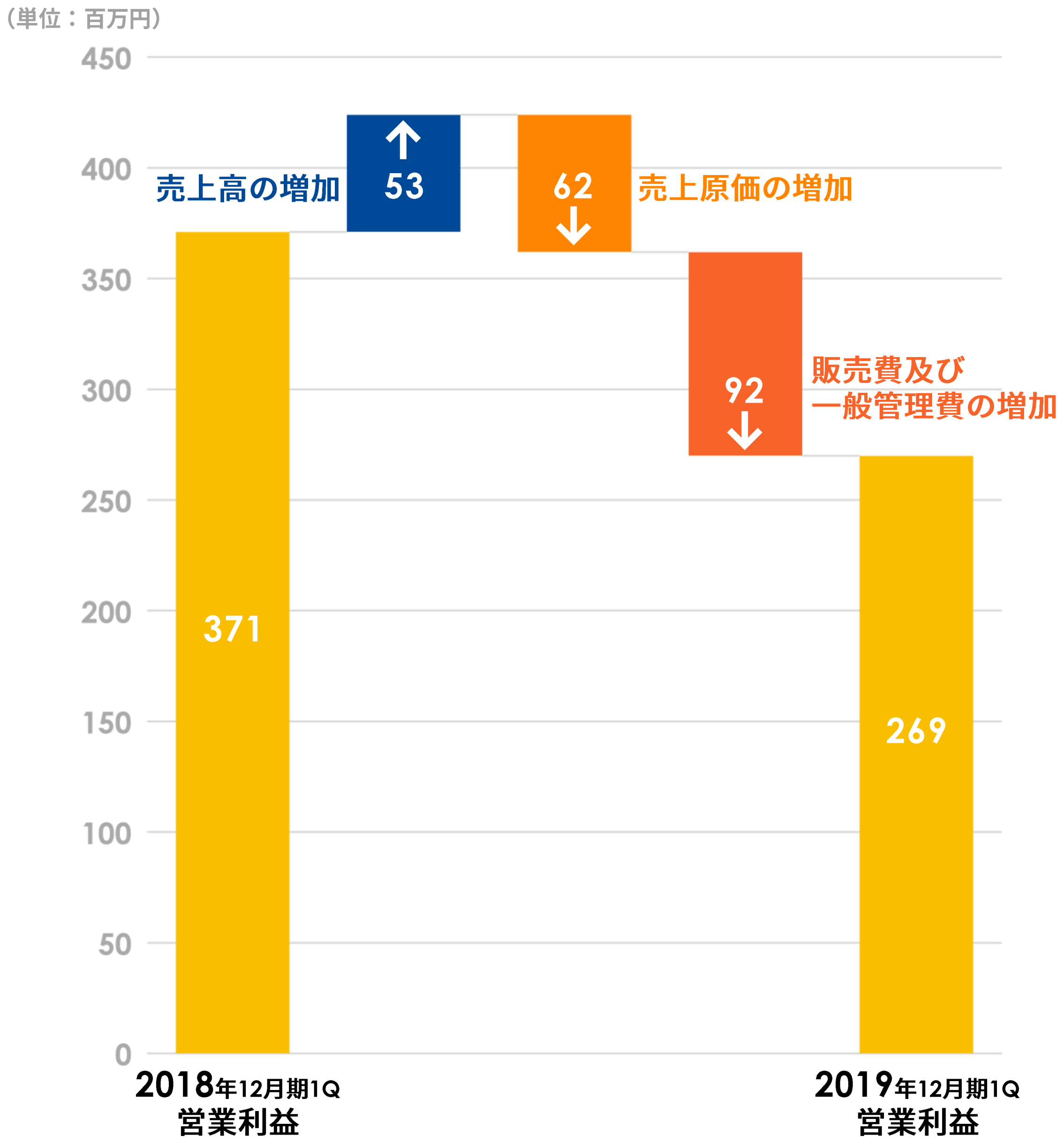
損益計算書（前年同期比）

（単位：百万円）

	2019年12月期1Q（構成比）	2018年12月期1Q（構成比）	増減額	主な要因
売上高	1,148 (100.0%)	1,095 (100.0%)	53	
売上原価	508 (44.3%)	446 (40.7%)	62	エンジニア人員の増加及び平均賃金・賞与の増加、外注費の増加等
売上総利益	640 (55.7%)	649 (59.3%)	▲9	
販管費	370 (32.3%)	277 (25.4%)	92	営業・管理系人員の増加及び平均賃金・賞与の増加、研究開発費の増加、採用費の増加等
営業利益	269 (23.4%)	371 (33.9%)	▲102	
経常利益	267 (23.3%)	330 (30.1%)	▲62	
親会社株主に帰属する四半期純利益	181 (15.8%)	226 (20.7%)	▲44	

© oRo co.,ltd.

営業利益の変動要因（前年同期比）



（単位：百万円）

主な要因	金額
売上高の増加	**53**
クラウドソリューション事業	46
デジタルトランスフォーメーション事業	6
売上原価の増加	**62**
外注費の増加	37
エンジニア人員の増加及び平均賃金・賞与の増加等	31
その他売上原価の増減	▲4
販売費及び一般管理費の増加	**92**
営業・管理系人員の増加及び平均賃金・賞与の増加等	44
採用費の増加	10
研究開発費の増加	7
その他販売費及び一般管理費の増減	30

© oRo co.,ltd.

貸借対照表（前期末比）

❶ 法人税納付等による現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少

❷ 本社オフィス増床による敷金の増加

❸ 法人税納付による未払法人税等の減少、支払手形及び買掛金の減少

❹ 親会社株主に帰属する四半期純利益の増加

（単位：百万円）

科目名	2019年 12月期1Q	2018年 12月期	増減額
流動資産	❶ 5,951	6,222	▲270
固定資産	450	415	34
有形固定資産	120	107	12
無形固定資産	97	106	▲8
投資その他資産	❷ 232	201	30
資産合計	6,401	6,637	▲235

科目名	2019年 12月期1Q	2018年 12月期	増減額
流動負債	❸ 943	1,243	▲300
固定負債	-	-	-
負債合計	943	1,243	▲300
純資産	5,458	5,394	64
株主資本	❹ 5,450	5,393	56
その他の包括利益累計額	8	0	7
負債純資産合計	6,401	6,637	▲235

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号　平成30年２月16日）等を当第１四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表についても組替え行っており、流動資産の区分に表示していた繰延税金資産81百万円を投資その他の資産の区分に組み替えております。

© oRo co.,ltd.

02 事業の状況

事業セグメント

クラウドソリューション事業

ZAC ENTERPRISE Reforma PSA の開発・提供

クラウドERPによる経営管理支援

- 業務オペレーションの効率化
- プロジェクト管理レベルの向上
- 管理会計にもとづく的確な経営判断

デジタルトランスフォーメーション事業

デジタル戦略立案、デジタル化支援、クリエイティブ

デジタルを基軸にしたビジネス支援

- 企業活動のデジタル戦略立案
- マーケティング活動のデジタル化を促進
- グローバルビジネスを加速

© oRo co.,ltd.

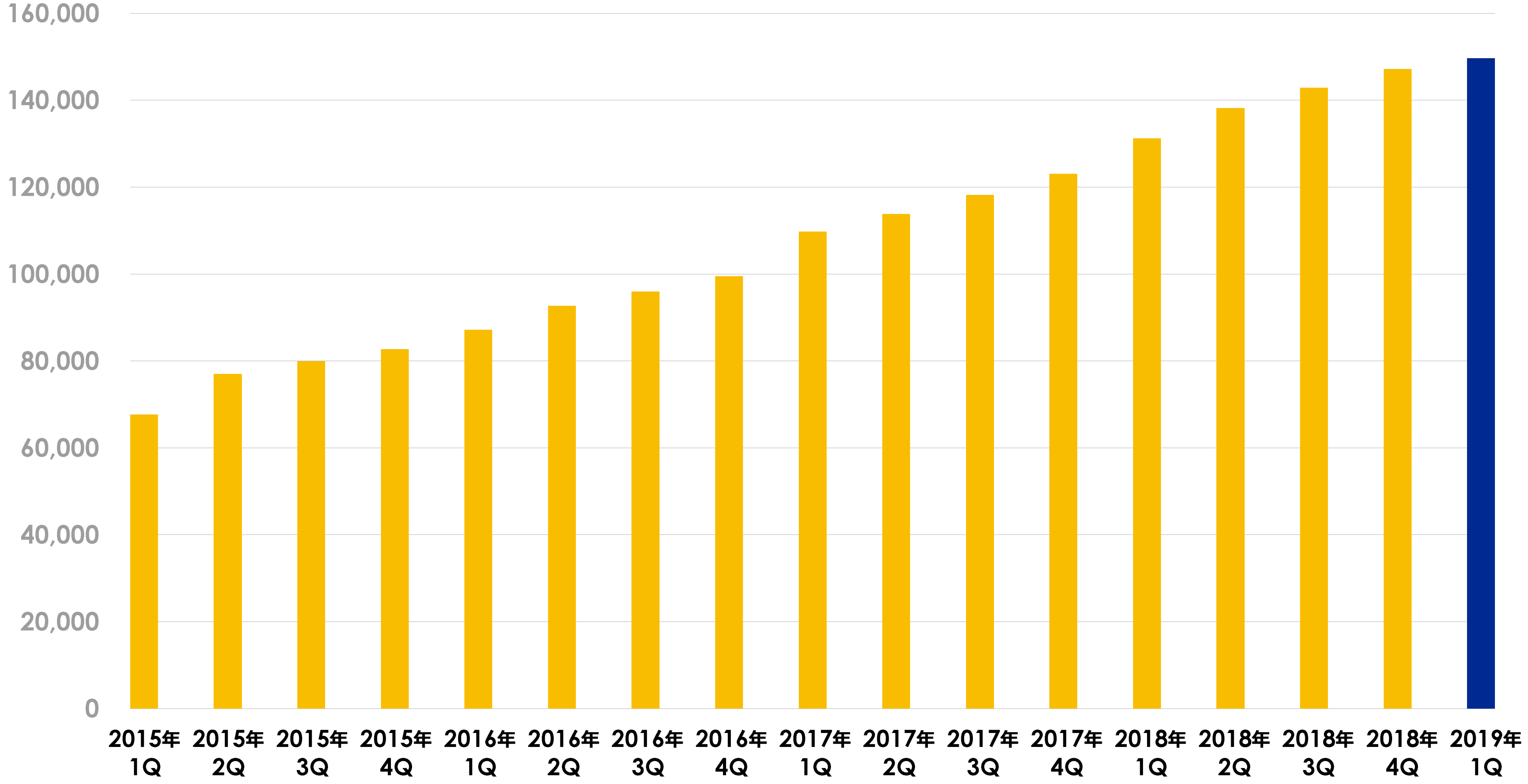
新拠点設立

株式会社oRo code MOCを2019年4月19日に設立
株式会社オロ宮崎に続く国内2つ目の事業支援子会社

クラウドソリューション事業

「ZAC Enterprise」稼働ライセンス数推移

新規顧客の獲得・既存顧客との取引拡大により堅調に増加



※稼働ライセンス数＝販売累計ライセンス数－解約累計ライセンス数

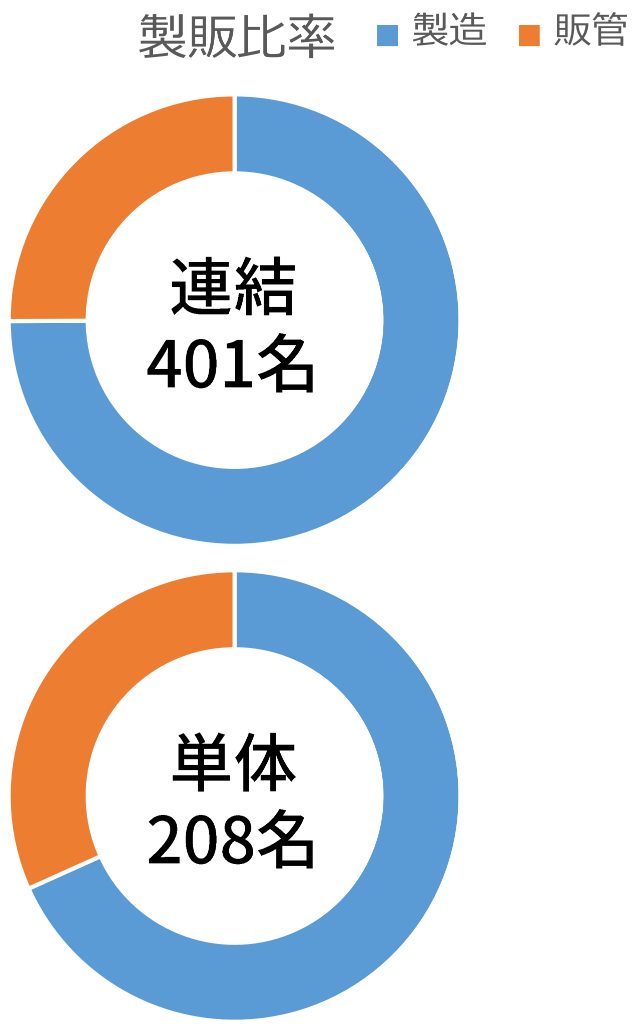
03 參考資料

会社概要

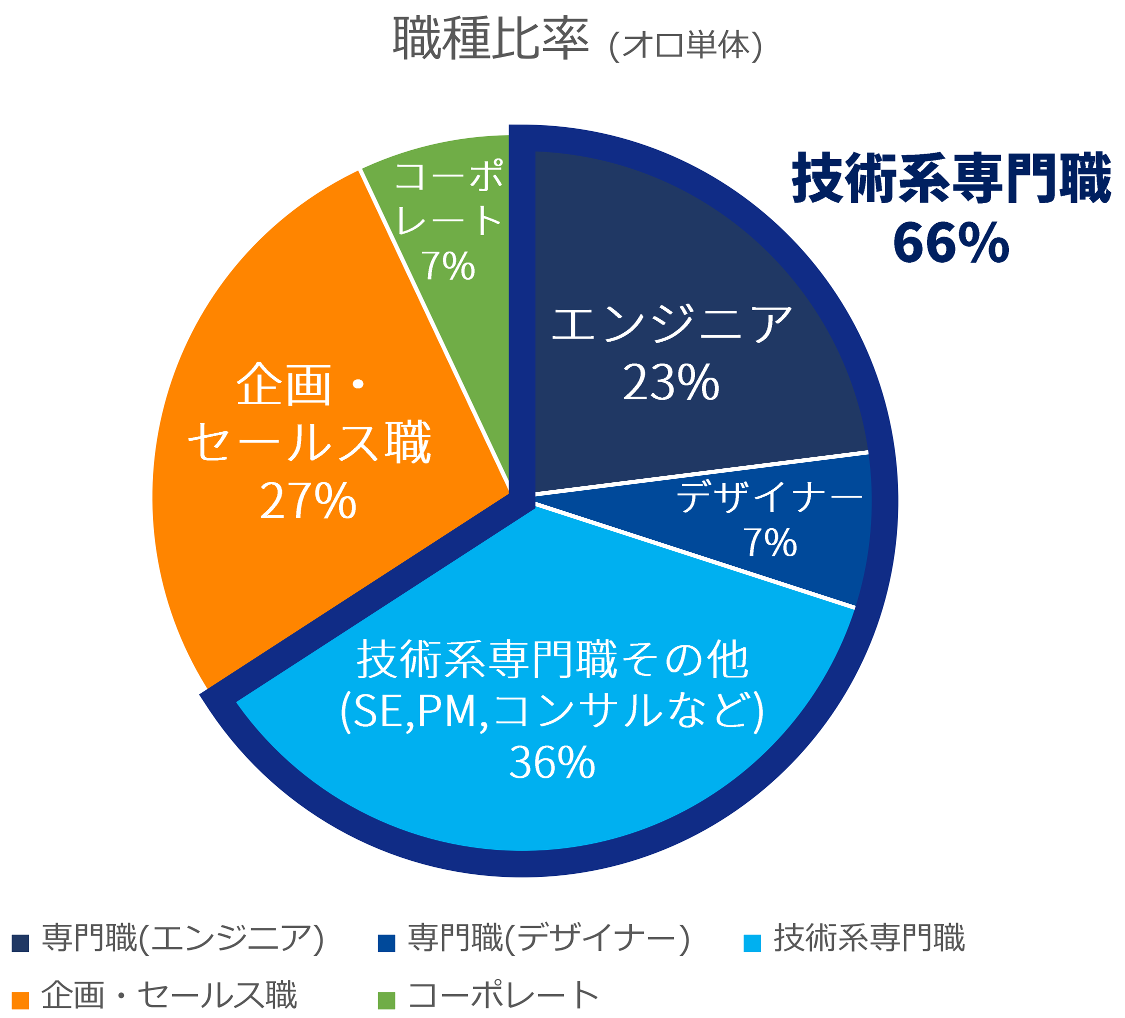
会社名	株式会社オロ
上場取引所	東京証券取引所市場第一部（証券コード：3983）
代表者	代表取締役社長　川田 篤
創業	1999年1月20日
本社所在地	東京都目黒区目黒3-9-1　目黒須田ビル
資本金	1,185百万円
事業内容	クラウドソリューション事業 ・クラウドERP「ZAC Enterprise」の開発・販売 デジタルトランスフォーメーション事業 ・デジタルを基軸にしたビジネス支援
従業員数	単体208人／連結401人（2018年12月31日現在）
拠点	東京本社　西日本支社　中部支社　北海道支社　福岡支社
グループ会社	株式会社オロ宮崎　株式会社oRo code MOC　株式会社エクスペクア 欧楽科技(大連)有限公司　大連奥楽広告有限公司　台灣奥樂股分有限公司 oRo Malaysia Sdn. Bhd.　oRo Vietnam Co., Ltd.　oRo (Thailand) Co., Ltd. oRo Digital Asia Pte. Ltd.　oRo Digital Asia Sdn. Bhd.

ものづくり人材を中心とした「組織構成」

“Technology × Creative”でソリューションを生み出す組織構成



(2018年12月末時点)



(2018年12月末時点)

© oRo co.,ltd.

経営理念

社員全員が**世界に誇れる物**（組織・製品・サービス）を創造し、

より多くの人々（同僚・家族・取引先・株主・社会）に対して

より多くの「幸せ・喜び」を提供する企業となる。

そのための努力を通じて**社員全員の自己実現**を達成する。

© oRo co.,ltd.

沿革

GLOBAL

- 2010 欧楽科技(大連)有限公司 設立
- 2012 oRo Malaysia Sdn. Bhd. 設立
- 2013 oRo Vietnam Co., Ltd. 設立
- 2014 oRo (Thailand) Co., Ltd. 設立
- 2015 欧楽科技(大連)有限公司　（上海分公司・広州分公司）設立
- 2016 台灣奧樂股分有限公司 設立
- 2018 oRo Digital Asia Pte. Ltd. （旧：Crossfinity Digital Asia Pte. Ltd.）子会社化
  oRo Digital Asia Sdn. Bhd. （旧：Crossfinity Digital Asia Sdn. Bhd.）子会社化

JAPAN

- 1999 有限会社オロ 創業
- 2000 株式会社へ組織変更
- 2004 ウェブサイト構築、運用保守業務開始
- 2005 情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)取得
- 2006 SaaS対応型ERPパッケージZAC ENTERPRISEを開発、販売開始
- 2007 プライバシーマーク付与認定取得・大阪支社（現：西日本支社）開設
- 2008 北海道支社 開設
- 2012 中部支社、宮崎サポートセンター 開設
- 2016 株式会社オロ宮崎 設立
- 2017 東証マザーズに株式を上場
- 2018 福岡支社 開設
  東証一部へ市場変更
- 2019 株式会社oRo code MOC 設立

© oRo co.,ltd.

クラウドERP「ZAC Enterprise」

「ZAC Enterprise」とは

ウェブブラウザを通じてプロジェクト収支
から組織全体の利益管理ができる
クラウドERPパッケージ

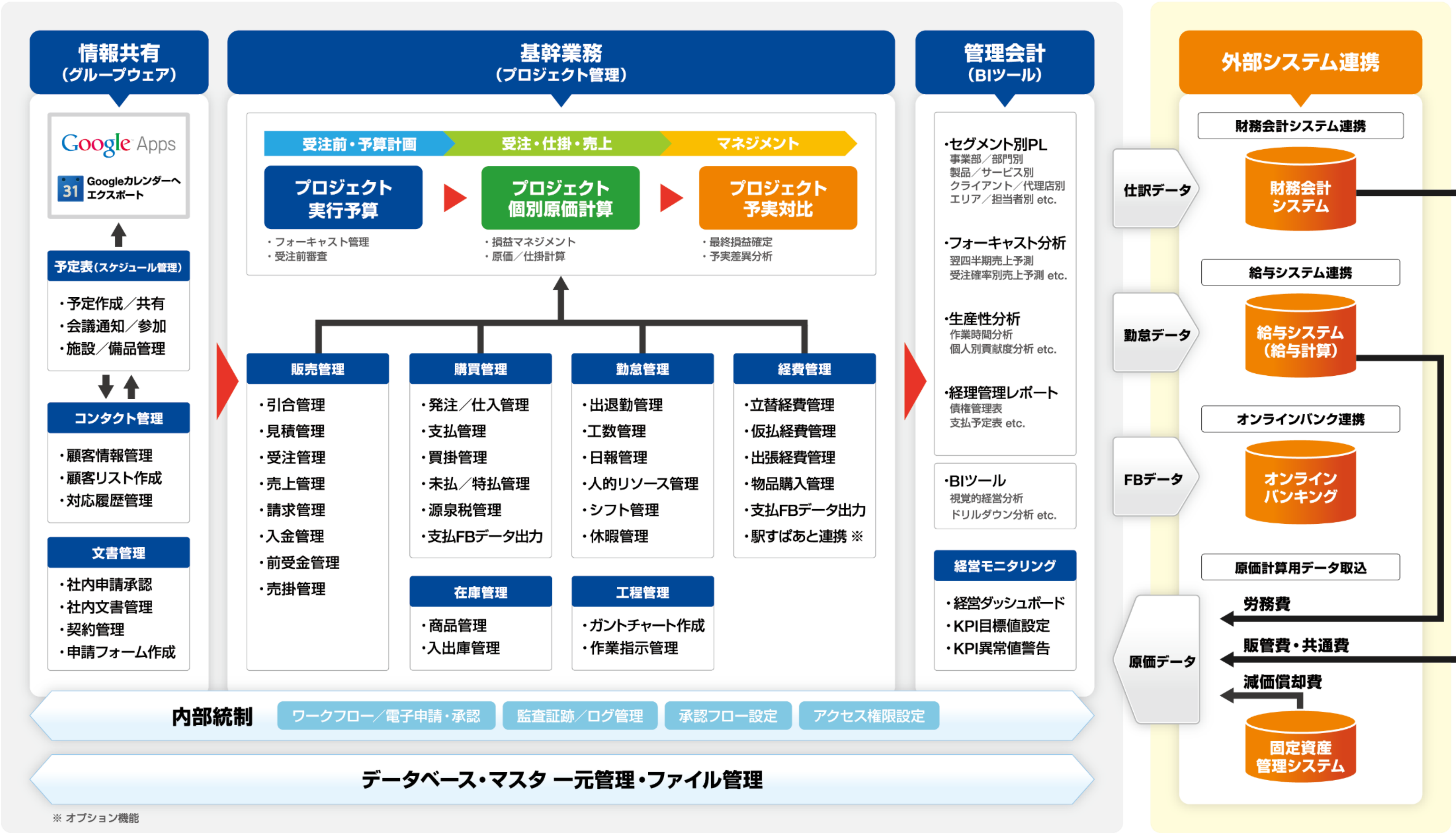
業務効率化と的確な経営判断を支援し、企業の生産性向上に貢献

- 情報の一元管理
- 全体最適システム
- 管理会計の実践

© oRo co.,ltd.

クラウドソリューション事業

「ZAC Enterprise」の機能



デジタルを基軸にしたビジネス支援

企業のビジネスパートナーとしてフルサービスを提供

デジタル 戦略立案	ウェブサイト 構築・運用	インフラ構築 システム構築
プロモー ション施策	ウェブ 広告運用	インバウンド 支援

❯

- **企業活動のデジタル戦略立案**
- **マーケティング活動のデジタル化を促進**
- **グローバルビジネスを加速**

© oRo co.,ltd.

事業の強み

- ワンストップフルサービス
  - 企業の成長に「深く」「長く」関われる体制を構築
- 信頼性の高いシステム開発力
  - クラウドERPの自社開発による裏付け
- 戦略的コストマネジメント
  - 収益性の高い内製体制の確立
- インバウンド需要、海外戦略への対応力
  - 国内7拠点、海外は中国・台湾・ASEANに9拠点

© oRo co.,ltd.

本資料の取り扱いについて

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。

- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

- 本資料のいかなる部分も一切の権利は当社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

R